

城南分教室 ひよこ組だより

2歳児の活動

テーマ：かるたとり

お正月の遊びとして、2歳児さんたちと一緒に大きなかるたで遊びました。先生が読む文を聞いて、3枚の絵札の中から合うものを選びます。最初は「どうしたらいいの?」と戸惑う子もいましたが、何度も遊ぶうちに文の内容をよく聞いて考えられるようになり、3回目にはすぐに札を取れるようになりました。文の意味を理解して絵を選ぶこの遊びは、ことばの理解を深める大切な力につながっています。

例えば、「練習」「気を付けて」「約束」といった言葉は、絵とすぐに結びつくものではありません。練習とはどんなことか、「気を付けて」とはどんなときに言われるのか、約束をするときに「ゆびきり」をしたことがあるかなど、日常の経験とことばの理解が関係しています。

保護者の方からは、「『約束』という言葉は知っているけれど、『ゆびきり』をしたことはなかった」という声もありました。

言葉を覚えるために特別なことをする必要はありません。遊びや日常生活の中での経験を積み重ねることが、子どもの言葉の力を育てます。毎日の生活の中で、子どもが言葉と経験を結びつけられるように意識して過ごしてみてください。



今回使用したかるた

